

議会 だより

平成29年
第4回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

平成29年田原本町議会「第4回定例会」が12月5日から12日までの8日間の日程で開かれました。開会日の12月5日には森町長が提出議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われ、12月12日に閉会しました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○平成28年度田原本町健全化判断比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、当該年度の健全化判断比率の4指標について、実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字で該当せず、実質公債費比率は6.3%、将来負担比率は36.9%となり、前年度と比較すると、実質公債費比率は0.3ポイント悪化し、将来負担比率は2.2ポイント改善したことを報告するもの

○平成28年度田原本町資金不足比率の報告

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、当該年度の水道事業会計及び公共下水道事業特別会計に関わる資金不足比率は該当がなかったことを報告するもの

《可決した案件》

○平成29年度田原本町一般会計補正予算(第6号)(全員賛成)

民生費で、障害者総合支援法改正等に伴うシステム改修、実績に基づく更生医療費給付金及び障害児通所給付費の増額、精算に伴う国庫支出金・県支出金の返納金を増額するもの、教育費で、町立小・中学校の新生が在る経済的に苦しい世帯に支給している就学援助費補助金の「新入学児童生徒学用品費」を入学前に支給することから、補助金を増額するもの、また、債務負担行為について、ふれあいセンター指定管理料、地域子育て支援拠点事業委託料、一時的保育事業委託料、こどもの健康育成事業委託料及び唐古・鍵遺跡史跡公園指定管理料の限度額を定めるもの

○平成29年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(全員賛成)

療養給付費等の精算に伴う国庫支出金の返納金を増額補正するもの
○平成29年度田原本町介護保険特別会計補正予算(第2号)(全員賛成)
地域支援事業交付金確定に伴う県補助金、並びに介護給付費負担金及び地域支援事業交付金の確定に伴う償還金を増額補正するもの
○田原本町下水道事業の設置等に関する条例(賛成多数)

田原本町下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行させるための条例制定及び関係条例について所要の改正を行うもの

○職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(全員賛成)

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、非常勤職員に、特別の事情がある場合に例外的に2歳に達するまで休業できるような措置するための改正を行うもの

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例(全員賛成)

平成29年人事院及び奈良県人事委員会の勧告等に準じ、本年の官民較差等に基づき、給与水準改定等を行うもので、4月1日に遡及して給料表の平均0.2%引き上げ、勤勉手当支給率の年間0.1月分引き上げなどの改正を行うもの

《採択された意見書の概要》

第4回定例会で採択された意見書は以下のとおりで、関係団体へ提出しました。

意見書	提出議員
精神障害者に公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書(賛成多数)	吉田容工議員

○田原本町企業立地の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例及び田原本町企業立地促進条例の一部を改正する条例(全員賛成)
企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の改正により、所要の改正を行うもの
○田原本町放課後児童健全育成施設設置条例の一部を改正する条例(全員賛成)
学童保育所の開所時間を30分延長し、午後7時までとする改正を行うもの
○田原本町営住宅条例の一部を改正する条例(全員賛成)
公営住宅法施行令及び公営住宅法施行規則の改正に伴う当該条例の引用箇所の整備などの改正を行うもの

○権利の放棄について（全員賛成）

町営住宅の家賃を滞納している居所不明者について、債権の回収が困難であるため家賃の支払請求権を放棄するもの

○指定管理者の指定について（全員賛成）

田原本町ふれあいセンターの指定管理者に、社会福祉法人田原本町社会福祉協議会を指定し、指定の期間を平成30年4月1日から平成33年3月31日までとするもの

○指定管理者の指定について（全員賛成）

唐古・鍵遺跡史跡公園の指定管理者に、京阪園芸株式会社を指定し、指定の期間を平成30年4月1日から平成35年3月31日までとするもの

○奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合からの脱退について（賛成多数）

平成32年3月31日をもって当該組合から脱退することについて、議会の議決を求めるもの

《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて

氏名 中川和子氏

任期 平成30年7月1日から

平成33年6月30日



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。



植田 昌孝 議長

今期定例会は、一般選挙後、最初の定例会でありました。会議では、同意案件を含め補正予算等17の案件と議員発議の意見書1件を審議し、議案の審査を付託された委員会も新たな体制でのスタートとなり、活発な議論、慎重な審査が行われました。本会議では、すべての議案を可決いたしました。

また、新任議員3名を含む7名の議員が一般質問を行い、まちづくりについて活発な質疑が行われました。以前にも増して住民の皆様が傍聴のため議会に足を運んでいただき、議会の運営に関しての貴重なご意見もいただきました。今後も住民の皆様により身近で開かれた町議会を目指し取り組んでまいります。

《同意した人事案件》

○監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 米田隆史氏（御所市在住）

任期 平成29年12月19日から

平成33年12月18日

○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 森岡康憲氏

任期 平成29年12月23日から

平成32年12月22日

○教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて

氏名 吉川眞司氏

任期 平成29年12月24日から

平成33年12月23日



《総務文教委員会》

質問 平成29年度田原本町一般会計補正予算（第6号）について、「新入学児童生徒学用品費」の支給は3月中旬とのことであるが、保護者の準備に間に合うのか。

回答 申請された方は3月中旬に支給を受ける予定で入学準備をしていただけると考える。今年度は初の取

梶木 裕文 議員

議員となり初の定例会で一般質問を行いました。町の核施設と位置づけられている「青垣生涯学習センター」をもっと利用・活用していただくための情報発信の手段、工夫まもなくオープンする道の駅、唐古鍵遺跡史跡公園と本施設との連携利用者増加に向けた取り組みについて質問しました。

また、清掃工場解体後の跡地活用について、西の防災拠点となる防災公園として、普段は気軽にスポーツを楽しめ、コミュニティの場となる活用を訴え、また活用に向けて跡地の安全性の面から地質調査の必要を訴えその実施について質問しました。

山田 英一 議員

議員になり初の定例会において本年から施行の「法令遵守推進条例」について、見解、対応及び推進体制について一般質問を行いました。見解については、「町民の要請に柔軟に対応し、公平かつ公正な職務を行い、より高い倫理観を目指す。」、対応については、「不当要求への対応や職員の倫理行動基準など、記録や報告体制を制度化し、毅然とした適切な対応を行う。」、推進体制については、「町民の疑惑や不信を招くよ

り組みであり、今後皆様のご意見を聞きながら前倒しが可能であれば取り組んでいきたい。

質問 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、働きながら育児がしやすい環境整備のための改正か。対象となる職員数は。

回答 国の進める「働き方改革」の実現に向けた法改正を受け条例改正をするもの。直ちに本改正の対象となる非常勤職員はいない。

経過報告 「中学校給食の早期実施を求める請願」の経過について、本年度は各中学校で給食調理棟、配膳室及び昇降機の設置等についての基本実施一括設計を行っている。平成30年度は国庫補助金の採択を受け、工事請負等の議会の議決を得た後、本格的な工事に着手し、平成31年度の第2学期より実施予定との報告を受けた。

《厚生建設委員会》

質問 平成29年度田原本町一般会計補正予算（第6号）について、今回の補正により地域子育て支援拠点事業はどのように改善されるのか。

回答 現状の利用形態に加え、一定時間、年齢別で「クラス」を設け、折り紙教室や、小さい子供の遊び教室等を定期的で開催することにより

うな行為を防止するため職員の倫理行動基準を具体化した職員倫理規程を制定する。」との答弁を得ました。

寺田 元昭 議員

当選後、初の定例会となります。厚生建設委員会、唐古鍵遺跡整備検討特別委員会の委員として付託された議案の審査を行いました。

厚生建設委員会では、下水道事業の会計システムについて、上水道会計ではすでに行われている、経営状況がより一層明確になる公営企業会計方式に平成30年度より改める条例他9議案を、唐古鍵遺跡整備検討特別委員会では、平成30年4月開園の史跡公園の指定管理者の指定他1議案を審査し、どちらも賛成し、可決されました。開園後も適切な運営が行われるよう引き続き見守ってまいります。

村上 清司 議員

当選後、初の定例会で一般質問を行いました。10月に発生した超大型の台風21号により、県内各地で被害が多発し、本町でも浸水被害等が発生したことを受け、豪雨・水害対策について、①水害対策のハード面の取り組み②水害時の活動体制の2点について質問しました。

ニュースで「観測史上最も多い」

事業の充実が図られると考える。

質問 田原本町下水道事業の設置等に関する条例について、公営企業に移行すると、減価償却という概念が発生し収支が赤字になることが懸念される。その補填のため使用者の負担増にならないのか。また、平成30年度から移行する目的・必要性は。

回答 移行後平成30～32年度の決算に基づき、企業として経費節減等に取り組んだ上で、情勢を鑑みて、料金改正が必要か否か見極めたい。

移行については、国から強い要請もあり、住民生活に欠かせない施設であることから、経営状況を的確に把握し安定した事業運営を行うため必要と考えている。

《唐古鍵遺跡整備検討特別委員会》

質問 指定管理者の指定について、業者選定の経緯と、選定した理由は。

回答 公募の結果3者の応募があり、プレゼンテーション、ヒアリングの実施により選定した。京阪園芸株式会社は、史跡公園の現状をよく把握しており樹木医による樹木の管理、芝の管理、多重環濠ゾーンの草の管理等について具体的な提案があり、活用についても考古学アドバイザーの活用や植物のセミナーの開催の提案がある等を評価した。

という言葉を頻繁に耳にします。町の洪水ハザードマップは過去の降雨量や浸水被害をもとに作成されていると思われませんが、今後降雨量が更新される可能性は高く、災害発生前の対応について見直し・検討が必要と考え質問しました。

牟田 和正 議員

今期定例会では台風21号により、本町に浸水被害等が発生したことを受け町の防災体制等について活発に議論されました。総務文教委員会でも、様々な意見・質問が委員から出され、私も災害時の緊急対応に支障をきたさないよう、ガソリン（燃料）の優先的な供給について地域の事業者との協定を提案し、前向きに検討するとの答弁でした。また、あいのりタクシー「ももたろう号」について、チケット制等使いやすい仕組みへの改善を訴え、住民の皆様にご喜んでもらえるよう見直し改善に取り組みたいとの答弁でした。

森井 基裕 議員

総務文教委員会にて、防災対策として①防災無線の聞きとりにくさ対策②避難の在り方、特に水害、夜間の場合について③マンホールトイレの設置について④災害復旧に対する本町の基本的姿勢についての4点に

ついで問題提起すると共に改善に向けた幾つかの提案をしました。

①については、正確な情報伝達のために、各戸への子機（受信機）設置が必要であること②については、十月の台風21号等の教訓を生かし、二次災害を防ぐためにも、各自治会、自主防災組織等と協議して町民の安全確保に努めること、等々を提案しました。

安田 喜代一 議員

厚生建設委員会にて、地域活性化対策のひとつとして町内の産業発展と雇用機会創出を目的とした企業立地促進条例の一部改正を審査しました。対象区域が町内全域に拡大され、対象業種は製造業・道路運送業・倉庫業から成長性の高い分野において地域経済を牽引する事業（県知事から事業計画の承認を受けたもの）となるもので可決されました。

少子高齢化が急速に進む中、町内の土地利用計画も踏まえ、しっかりと若者が働ける雇用の場を地域で確保し、「賑わいと活力あふれるまちづくり」を目指していかなければなりません。

古立 恵昭 議員

「一般質問」にて、2018年度介護保険改正について、(1)地域包括

ケアシステムの深化・推進について、(2)介護保険制度の持続可能性の確保について問う。その中で特に大きな生活援助サービスの見直しに合わせ、ゴミ出しが困難な高齢者世帯等への個別収集並びに買い物弱者への支援の方針を問う。

次に学校給食無償化並びに学校教室への空調設備いわゆるクーラーの設置の可能性を問う。

総務文教委員会にて、新入学児童生徒学用品費のできるだけ早い支給を求める。防災では4月に行われる全国防災展への職員の研修を提案する。

西川 六男 議員

監査委員は平成29年7月の監査報告で、愛和会の事件について、「平成9年度から平成27年度まで町から支払われた委託料に不正がなかったのか、配置したと報告している職員数が本当に配置されていたのか、等の調査にまだ着手していない。」と指摘されていることから、私は速やかな調査への着手、町民への説明について質問しました。すると「現在、再確認をしている。」との答弁でした。事件からはや1年。愛和会の理事であった森町長が、時効になる前に、速やかに全力を挙げて調査する事を、引き続き求めていきます。

竹邑 利文 議員

中学校給食の実施時期は国補助金の関係で平成31年2学期開始予定とのこと。請願の紹介議員として、早急な実施を求めていきたい。

「精神障害者に公共交通機関の運賃割引制度の適用を求める意見書」で賛成意見を述べた。現状では身体・知的障害者は割引の適用となっているが精神障害者は除外されている。障害の種別で適用外となることは不合理で、就労が困難で所得保障も乏しく経済的負担が明らかだ。国連障害者権利条約、障害者差別解消法でも障害を理由とする差別の解消が謳われていると訴え賛成多数で可決された。

吉田 容工 議員

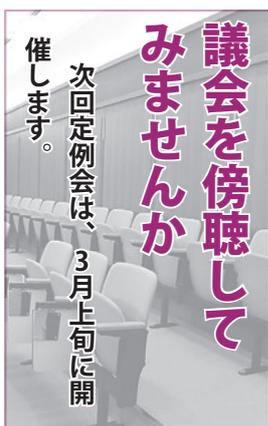
水害対策について一般質問しました。9月の豪雨で柳町水害が発生し、アンダーパスが水没しました。ところが、10月の台風では被害はありませんでした。台風のとときは上流で大雨が降り烏米川の取水口が早々に閉まった結果、水害を免れた。大雨が予想される時は取水口を閉めること。さらに、阪手、小阪等の水害を防ぐためにも計画的に数十万トン規模の貯留槽を整備するよう提案しました。町長は、「烏米川の取水口は影響な

い。県に内水対策を求めた。」と答弁。実態を分析し、リーダーシップを発揮するよう求めました。

松本 美也子 議員

「誰もが輝けるまちづくり」のために「発達障害者支援法」の改正をふまえて①幼稚園、保育園、小・中学校に通う対象児の人数②職員等への研修③町民の認知と理解のための取り組み④きれめの無い支援体制の4点についてと「移动式赤ちゃんの駅」貸し出し事業について質問。

また、「災害に強いまちづくり」について①災害時安否確認ツールについて②台風21号の経験を活かした災害に強いまちづくりについて、避難に支援が必要な人への連絡体制の徹底、住民による避難所ごとの訓練、備蓄用品、指定避難所の再考などを一般質問しました。



次回定例会は、3月上旬に開催します。

議会を傍聴してみませんか

お問い合わせ先

議会事務局（☎34・2119）